

政策課題・提言（民生文教常任委員会）

1 民生委員のなり手不足について	
課題	民生委員は地域の身近な相談役として、高齢者世帯の把握や高齢者と専門機関との橋渡しを担うなど重要な役割を果たしているが、近年においてはなり手不足・高齢化が深刻化している。
提言	町民を対象に民生委員制度や活動を学ぶ講座を開くほか、民生委員に一日同行して活動を体験する機会を設けるなど、人材の育成確保のための取り組みを行うこと。
2 民生委員活動の負担軽減について	
課題	町民の抱える問題が複雑化・多様化する現代において、民生委員の重要性が増す一方、訪問、相談支援、地域福祉活動等、労務負担の増加が大きな問題となっている。
提言	民生委員の負担軽減と、新たな地域福祉の担い手の掘り起こしを図るため、民生委員の活動を補佐する民生委員協力員制度の創設を検討すること。
3 一人暮らしの高齢者に対する民生委員の対応について	
課題	高齢者が抱える問題が多様化し、解決のために民生委員に寄せられる期待が増す一方で、民生委員の活動内容が広く理解されていない状況がある。
提言	高齢者（特に転入者）を対象に、民生委員制度や活動への理解を深めるため、適時地域の民生委員についての情報提供を行い、様々な活動への周知を図ること。
4 高齢者の外出支援について	
課題	高齢者の外出目的は買い物や病院への通院であり、町外の医療機関への交通手段を求める要望が根強く存在する。
提言	<ul style="list-style-type: none"> ・町外の医療機関への交通手段について、更なる拡充を図るよう検討すること。 ・デマンド型乗り合い交通と福祉タクシー券の利用方法の周知徹底を図ること。
5 学校施設の整備について	
課題	近年の生活様式の変化により、住宅等では洋式便所が主流となっているが、学校施設においては和式が数多く残っている状況にある。災害時には学校が地域の避難所になることや、衛生面や節水効果も鑑み、洋式化を進める必要がある。
提言	学校や体育館の環境整備として、学校施設に係るトイレの洋式化を進めること。